

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
2022年度第6回事業審査委員会 議事録

- 1 日時：2022年9月22日(木) 17：30～19：25
- 2 場所：東京都千代田区麹町3-6-5 麹町GN安田ビル4階 JPF事務局会議室（Web会議）
- 3 出席者の確認

事業審査委員総数5名のうち、事業審査委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がなされ、本会の成立を確認した。

事業審査委員

学識経験者：永井 秀哉（共同代表理事）

外務省：民間援助連携室 松田俊夫

学識経験者：堀場 明子

学識経験者：清水 研

事務局長：高橋 丈晴

オブザーバー

外務省：鈴木 なほみ（民間援助連携室 事務官）

4 審議事項

- (1) 第一号議案：第5回事業審査委員会 議事録の承認

審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

結果：承認

- (2) 第二号議案：イラク・シリア人道危機対応支援プログラムにかかる事業計画書の承認：4事案
〈REALs〉 シリア国内

結果：条件付き承認（承認：3、不承認：1）

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 分科会で指摘された文言の修正をしていただきたい。
2. モニタリングなど、実施にあたってのキャパシティを見直していただきたい。具体的には、個別支援かグループ支援なのかそれぞれどちらの支援を何人に行うのか記載すること。グループセッションにも様々な種類があるため、グループセッションの実施の再検討も含め、もし実施するのであれば実施する人にどのようなスキル、技術があるのかを把握したうえで、合理的な範囲で実施を行うこと。
3. 桑山委員に事業の進捗管理をしていただくこと。
4. 分科会に参加した全委員、および地域専門家の須崎先生に申請書を確認していただき、承認を得ること。

〈WVJ〉 シリア国内

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. アウトカムに記載してある内容を申請書の本文内に記載すること。
2. 分科会にて受けた質問への回答（バリアフリーや自己資金の直間比率の記載等）を申請書内に追記すること

〈REALs〉トルコ共和国エルデムリ地区とメルスィン市4地区における脆弱なシリア難民への情報提供・個別支援強化事業

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. リーフレットを配るだけにならないように留意し、啓発活動内容の理解度を上げるための取り組みを申請書に加筆修正すること。
2. モニタリングの指標を整理し、効果が見える形に修正すること。
3. 申請書の記載内容を再整理すること。
4. 本日の審議にてご指摘いただいた点を申請書に反映すること。

〈AAR〉コミュニティに根差した現地人道支援団体の能力強化

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. 本件事業総体として、ジャパン・プラットフォームの事業であること、日本の顔の見える支援であることをいかに示すかという点に十分に留意の上、事業計画を修正すること。
2. 本事業と UNHCR 事業との棲み分け、及び本事業をなぜ日本の支援で行う必要があるかについて明確にすること。
3. Community Based Organization(CBO)より提案のあった事業を選定するに際しては、単なる委託と見られないよう、CBO の自由度を損なわない範囲で AAR としても適切に関わり、当該 CBO による事業において日本の支援であることや日本ならではの支援であることが担保されるよう事業計画を修正すること。
4. CBO への事業計画策定にかかる研修については、可能な限り支援対象とならなかった CBOs も参画させること。
5. 条件解除にあたっては、本分科会に参加した委員全員に修正した申請書を共有し判断を仰ぐこと。

(3) 第三号議案：南スーダン難民緊急支援プログラムにかかる事業計画書の承認：2事案

〈REALs〉中央エクアトリア州ジュバ市国内避難民キャンプとホストコミュニティにおける保護および争い・暴力予防対策事業

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1. コミュニティ指導者、ファシリテーター等のプロジェクト関係者の、犯罪歴などを含む経歴を様々なソースを使って徹底的に調査し、如何に住民の安全、および住民間の自由な発言の場を確保するかについて、ソーシャル・オイリュトミー等アップデートされた適切な方法の活用も含め、活動に落とし込み追記すること。

2.	前期及び今次事業について、費用対効果を含めた具体的な事業効果が見えるモニタリングおよび事業成果報告などの体制構築を行うこと。
3.	紛争地における事業の実施と言う特性から、現地及び本邦の地域専門性を有する人材の確保、及び活用を行うこと。

〈PWJ〉 南スーダン共和国中央エクアトリア州およびアッパーナイル州における給水衛生レジリエンス強化支援

結果：承認

事業審査分科会での結果：承認

- (4) 第四号議案：モザンビーク北部人道危機対応支援プログラムにかかる事業計画書の承認：2事案

〈GNJP〉 モザンビーク共和国カーボ・デルガド州における紛争被災者を対象とした水衛生緊急支援Phase2

結果：承認

事業審査分科会での結果：承認

〈PWJ〉 カーボ・デルガド州の紛争被災者に対する給水・衛生支援を通じたレジリエンス強化

結果：条件付き承認

事業審査分科会での結果：条件付き承認

事業審査分科会での条件：

1.	「アクティビスト」→「アティビスタ(Ativista/活動者)」へ文言を修正すること。
2.	事業地選定理由(特にシウレ郡選定理由)を加筆すること。
3.	感染症減少を測る客観的指標を取り入れること。使用する教材を確認すること。

- (5) 第五号審議事項：ベネズエラ避難民支援プログラムにかかる事業計画書の承認について：1事案

〈JADE〉 ペルーに避難した脆弱度の高いベネズエラ避難民とホストコミュニティに対するコミュニティ能力向上支援と相談サポート事業

結果：承認

事業審査分科会での結果：承認

- (6) 第六号審議事項：ミャンマー避難民人道支援プログラムに係る事業計画書の承認について：1事案

〈WVJ〉 ミャンマー避難民キャンプおよびホストコミュニティにおけるジェンダーに基づく暴力（GBV）に対する保護環境の整備・強化事業

結果：承認

事業審査分科会での結果：承認

(7) 第七号審議事項：東日本大震災被災者支援（福島支援）に係る事業計画書の承認について：1事案

〈PWJ〉 福島県における馬との交流を通じた被災者ケア促進事業

結果：再提出

事業審査分科会での結果：再提出

事業審査分科会での再提出理由：

1. 事業のアウトカムや既存事業との関係が具体的でない。
2. ホースセラピーの効果が不明確。
3. 馬事文化の継続とホースセラピーのつながりが不明。
4. 詳細に落とし込んだログフレームの記載が必要。

(8) 第八号審議事項：西日本豪雨被災者支援2018に係る事業計画書の承認について：1事案

〈PWJ〉 倉敷市真備町における福祉復興支援センター開設支援事業

結果：再提出

事業審査分科会での結果：再提出

事業審査分科会での再提出理由：

1. 建築図面がないため改修内容が把握できない。それに伴い工事概算の根拠が不足。
2. ハザードマップ、建物の用途変更に必要な各種申請について情報が無い。
3. 本事業実施にあたっての申請団体の主体性が不明確。

松田委員：そもそも分科会に諮れるような状況ではなかったのではないか。

藤原：事務局でも同様の認識だった。団体から審議に通してほしいとの依頼があり、審議に諮ることになった。

5 報告事項

- (1) ミャンマー人道支援2021進捗状況報告（AAR、PWJ、PARCIC口頭報告）
- (2) パキスタン洪水への対応について
- (3) カテゴリー更新2022年度（約40団体）
- (4) カテゴリー新規2022年度（たらちね）
- (5) 一般管理費モニタリング中間報告
- (6) JPF及びJPF加盟団体ガバナンス・コンプライアンス整備・強化（JANIC・JPF協働イニシアティブ）進捗状況報告

6 書面による報告

- (1) NGOユニットからの報告
- (2) 事業計画変更の報告
- (3) JPF事務局審議結果の報告
- (4) 固定資産処理の報告
- (5) 終了報告書審議結果の報告
- (6) コアチームの報告
- (7) 新型コロナウイルス感染症に対する対応指針4（4）に基づく報告

7 次回以降の事業審査委員会開催日時と会場について

2022年度第7回事業審査委員会：2022年10月20日(木) 麴町GN安田ビル4F会議室

2022年度第8回事業審査委員会：2022年11月25日(金) 麴町GN安田ビル4F会議室

2022年度第9回事業審査委員会：2022年12月14日(水) 麴町GN安田ビル4F会議室

2022年度第10回事業審査委員会：2023年1月26日(木) 麴町GN安田ビル4F会議室

2022年度第11回事業審査委員会：2023年2月22日(水) 麴町GN安田ビル4F会議室

2022年度第12回事業審査委員会：2023年3月22日(水) 麴町GN安田ビル4F会議室